



3600m²のメインアリーナではキャットウォーク下にLED高天井用照明器具を配置し、点滅回路を細分化することにより用途に応じた照度の調整が可能となっている

JR高崎駅に近接して誕生した 国際大会対応の市民体育館

高崎市では市民ニーズに対応した生涯スポーツの推進を基本方針として計画的な新規施設を整備し、スポーツを都市集客の大きな要素と位置づけている。高崎アリーナの整備に当たっては、市民スポーツの振興だけでなく、世界レベルの大会やプロスポーツの試合が開催できるように計画され、JR高崎駅に近接した日本製粉工場跡地(約20,000m²)が敷地として選ばれた。メインアリーナはバスケットボール・バレーボールの公式コートが4面取れる42m×85mの広さ。天井高は17.5~19mでノコギリ形の屋根

北側にはトップライトが設けられており、自然採光も確保。暗転した場合でも国際競技に必要な床面照度1,500lxが確保されている。また、多目的利用に配慮して段階的な照度の調整が可能となっている。サブアリーナは有効スペース26.8m×38.5mで、こちらも段階的な調光が可能。また地下1階の柔剣道場では柔道2面と剣道2面の公式試合を同時に開催でき、可動間仕切りで3分割できるため各種大会への対応も可能。このほか、ウェイトリフティング場に加え、ダンスやバレエなどにも利用できる多目的室を備えるなど、個人利用から国際大会まで高崎市民だけでなく国内外の利用にも対応している。

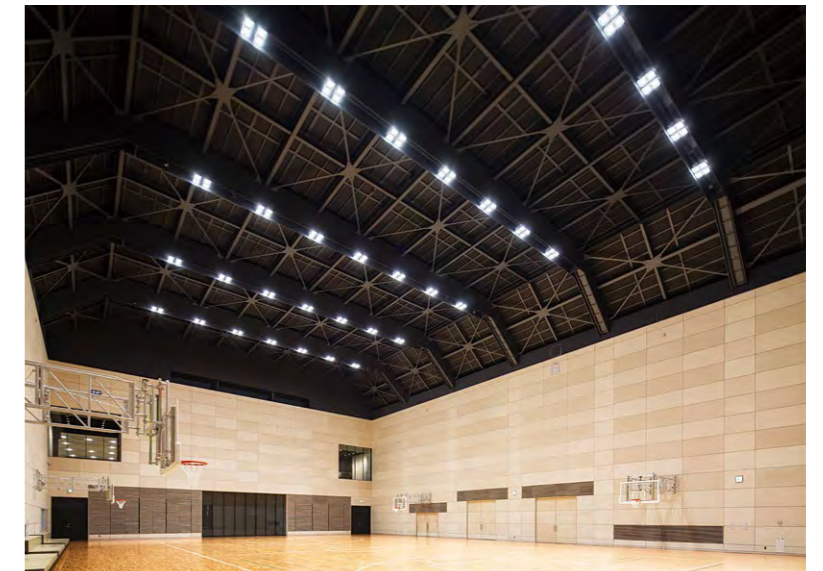
高崎アリーナ

TAKASAKI ARENA

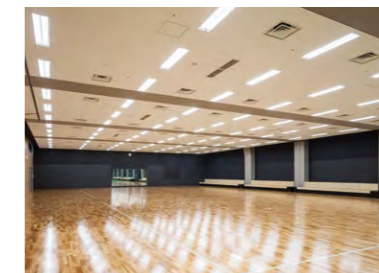


高崎アリーナ

所在地/群馬県高崎市下和田町
 施工主/高崎市
 設計・監理/株式会社山下設計
 施工/戸田建設株式会社
 竣工/2017年4月



移動式観客席100席が配置可能なサブアリーナも5段階調光可能

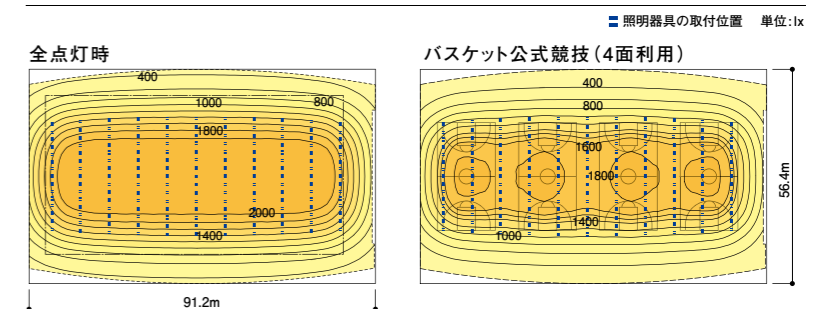


3分割利用できる可動間仕切りを備えた柔剣道場には直管LED照明器具を配置



エントランスのLEDダウンライト

メインアリーナの用途別照度分布図



主な設備

- 1000形LED高天井用照明器具
- 照明制御システム
- 直管LED照明器具
- 太陽電池モジュールHIT238(49.5kW)
- LEDダウンライト

*画像提供: 株式会社川澄・小林研二写真事務所